

令和7年度（学び続ける教師を応援する）しまだい学校教員研修

※オンデマンド+対面(集合型)

研修名	共生を実現する学校について考える ～多様性の尊重と凝集性（まとまり）の両立を目指して～				
資質向上に関する指標（文科省）	教職に必要な素養 特別な配慮や支援を必要とする子どもへの対応	プログラム指標 (しまだい)	子ども支援		
キャリアステージ	自立・向上期(1～10年目)	○	研修レベル	基礎(学部1・2年レベル)	
	探究・発展期(10～20年目)	○		応用(学部3・4年レベル)	
	充実・円熟期(20年目以降)	○		発展(大学院レベル)	○
開設日	令和7年7月25日(金)	時間数	8時間	定員	25名
会場	山陰教員研修センター (島根大学教育学部附属 義務教育学校前期課程に併設)	所在地	島根県松江市大輪町416-4		
授業形態	演習、講義、(オンデマンド教材)	対象校種	全校種		
		対象教科	全教科		
実施方法	オンデマンド+対面(集合型)	対象職種	広く学校教育関係者		
担当講師	津多 成輔(島根大学教育学部 講師) 齋藤 英明(元島根大学教職大学院 教授)				
研修内容	学校では、発達上の特性、障がい、ジェンダー・性自認、外国にルーツのある人々の増加による文化間の相違等、配慮すべき要素が増加・多様化している。本研修では、こうした学校をめぐる多様化に通底する「共生」についての理解を主体的・対話的な学びによって深める。具体的には、「共生」に関する基本的な事項を概説した上で、書籍(『共生と希望の教育学』筑波大学出版会)を講読し、討議を行う中で学校のあり方を考える。				
日程 ※研修の進み具合によっては、予定時間を変更することがあります。	時間	内容 ※研修中は適宜休憩をとります。			
	受講前(90分)	「共生」の理論(オンデマンド教材)			
	8:40～9:00	受付			
	9:00～9:10	オリエンテーション			
	9:10～10:30	『共生と希望の教育学』を読む			
	10:30～12:00	「共生」について考える①			
	13:00～15:20	「共生」について考える②			
	15:20～16:00	学校教育における「共生」の可能性			
	16:00～16:15	「実施後アンケート」記入・事務連絡 ※「研修の課題・振り返り」の記入は研修時間内で随時			
研修に関して各自準備するもの	特になし(※研修で取り扱う『共生と希望の教育学』は、購入する必要はありません。)				
事前課題	・当日(7月25日)までに、オンデマンド教材を視聴の上、受講してください。 ・オンデマンド教材は教師教育研究センターホームページより入手してください。その際のホームページのURL及びパスワードは受講決定後お知らせします。				

その他	<ul style="list-style-type: none">・募集要項に記載の携行品等をご持参ください。・本研修は、受講者と講師あるいは受講者間の対話を中心に進めます。・講義の内容に関する質問等に、メールで対応します。 stsuda@edu.shimane-u.ac.jp まで、ご連絡ください。・当日の駐車場は、附属義務教育学校前期課程校庭です。南側入口からお入りください。
-----	--